



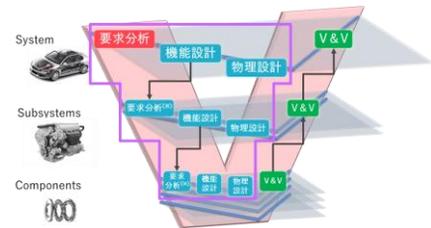
システムズエンジニアリング 実践研修 のご紹介

システムズエンジニアリングの詳細手順やTipsを、
新規設計を題材にした演習を通じて習得し、
開発の効率化と製品品質の向上を実現する

「システムズエンジニアリングに取り組んでいるが、なかなか成果が出ない」
「部分的には適用しているが、新規開発への適用や全社展開が進んでいない」

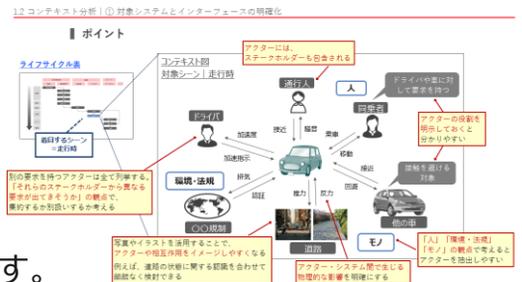
このような問題が起きていませんか？

様々な分野で、製品機能の高度化・複雑化に伴い
システムズエンジニアリング（以下、SE）の適用が
進んでいますが、成果が順調に出ているケースは少なく、



「各ダイアグラムに記載する情報の粒度が分からない」
「構造が決まっていない状態で、どこまで抽象化して考えれば良いか分からない」
「要求分析やアーキテクティングの結果を、どうリスクアセスメントやV&Vに
繋げていけば良いか分からない」といった、SEの実践を通じて直面する問題で悩み、
頓挫してしまっている状況が散見されます。

本研修では、そのような状況の多くの現場での
SE実践支援を通じて培われたノウハウを基に、
SEの詳細手順やTipsを学んでいただきます。
また、新規開発を題材にした実践演習を通じて、
より実務に役立つレベルで理解を深めていただきます。



概要

【本研修の狙い】

SEの詳細手順やTipsを実践演習を通じて学び、
新規開発においてもSEを実行できる能力を習得していただく

【習得できること】

- 要求分析、アーキテクティングの詳細な手順・実践でのポイント・具体例
- リスクアセスメントおよびリスク低減の詳細な手順・実践でのポイント・具体例
- V&Vの詳細な手順・実践でのポイント・具体例

構成

・ SEが求められる背景の確認

・ SEの手法説明

1. 要求分析
2. アーキテクティング
3. リスクアセスメントおよびリスク低減
4. V&V (Verification & Validation)

詳細説明
 +
 グループ演習
 +
 質疑応答

・ 全体まとめ

1. 要求分析

ライフサイクル分析 → コンテキスト分析 → ユースケース分析 → システム要求整理

2. アーキテクティング

機能設計 → 物理設計 → 意図しないふるまいの対策

3. リスクアセスメントおよびリスク低減

リスク抽出 → リスク評価 → リスク低減

4. V&V (Verification & Validation)

テスト計画の立案 → テストケースの定義 → 段階的なテストの実施

※ 「2.5日間/受講人数16名」を基本パッケージとしていますが、ご要望に対応いたします

特徴

- 実際の開発手順に沿って、リスクアセスメントやV&Vまで踏み込み、段階的に完成度を上げていく考え方・手法を学べます。
- 講師の現場支援経験・コンサルティング経験や事例も交えつつ、実務で活用できるSEのノウハウ・コツを学べます。
- 新規開発を題材にした実践演習を通じて、馴染みのある流用開発だけでなく新規開発にも対応できる人材を目指します。
- ワークセッションでは、個人または2人組で取り組んでいただきます。
- システムズエンジニアを目指す方、開発上流での要求・機能の抽出方法を習得している方、システム設計段階で適切な実現手段の検討方法を習得している方に推奨する研修となります。
(SEの経験が浅い方には、弊社の別研修「システム設計力強化研修」を推奨します)
- 一般的な記述モデルであるSysMLの考え方・ダイアグラムを意識した構成・具体例です。(本研修は考え方の習得がメインであり、手書きで進める演習でもあるため、SysMLに完全準拠しているわけではありません)